

平成25年度 第2回予防接種運営委員会 会議録

日 時	平成26年3月12日(水) 13:30~15:00
会 場	医師会医療センター
出席者	委員長 高 義雄 委員 澤田 喜博 委員 河盛 重造 委員 安元 兆 委員 北野 章 事務局 越智 恭宏 瀬戸山 敏子 田中 佐代子 井上 登代美
欠席者	委員 津村 直行
事務局	健康課
会議の公表	■ 公開
傍聴者数	0 人

1 会議次第

(1) 委員長挨拶

(2) 議題

議題1 平成25年度予防接種事業実績について(資料1)

議題2 平成26年度予防接種事業実施計画について

- ・平成26年度芦屋市の予防接種について(資料2)
- ・風しん予防接種費用助成事業について(資料3)
- ・水痘ワクチンの接種対象者・接種方法について(10月1日実施予定)
- ・成人用肺炎球菌ワクチンの接種対象者・接種方法について(10月1日実施予定)

議題3 その他

2 提出資料

資料1 平成25年度予防接種事業実績について

資料2 平成26年度芦屋市の予防接種について

資料3 風疹予防接種費用助成事業について

3 審議経過

(開会)

高委員長挨拶

(高委員長) それでは議題に入ります。議題1平成25年度予防接種事業実績について事務局から説明してください。

(事務局 井上) 平成25年度予防接種事業実績について説明いたします。

(資料1)の説明

(高委員長) ありがとうございます。ただいまの報告について何かご質問等はありませんか。

(高委員長) 高齢者肺炎球菌の対象者の数は、どうなってますか？

(事務局 越智) 平成25年4月に対象者の方571名に、10月にあらたな対象者73名に送付し計644名の方に送付しました。

(河盛委員) 予防接種、受けない主義の人の話ですが。この間も1歳半健診でうけてないものがあると言われ、何人かが相談に来られました。こういう方は、全部受けないといけないものか、全部受けなくていいものか？というように思っておられるようです。

たとえば、日本脳炎ワクチンとMRとでは、接種する意義が違うので、ちゃんと説明して少なくとも、これは、受けたらどうですか？という言い方をしたら、1～2個でも受けてもらえるのではないですか。

芦屋ですから、MRを接種していないと、医療系大学に進めないとか、海外留学もできないなどと説明したら、理解してもらえて『接種しようか』ということにもなるかもしれない。

予防接種は、全部受けないとダメというのと、だいたいそういう人は、反発されるので説明もちゃんとしてあげたら、受けてもらえるのではないのでしょうか。

(高委員長) どうですか？

(事務局 瀬戸山) そうだと思います。私も赤ちゃん訪問等で、うちは、1人目も2人目も接種させんと言われるかたに、何とかしてMRだけでも受けてもらいたいと思い、海外留学の際、大学入試の際MR接種の証明が必要な世の中になりましたと説明しましたが、否定的な反応される方もありました。

(河盛委員) それは事実ですから、はっきり伝えたほうが良いですね。

(事務局 瀬戸山) はい、また「行政として接種勧奨をする義務がありますから、選んでる、しないは、保護者の決定です」とも伝えていきます。

(河盛委員) 接種を拒否される方は、正しい情報を知らなくて、偏った情報しか入ってこないで全種類の予防接種を勧めるのではなく、接種ごとに受ける意義など正しい情報提供ができれば、保護者が選んで接種してもらえるかもしれません。予防接種を受けているかどうかで、子どもの進路を狭めてしまう可能性があることも伝えたほうが良いでしょう。

(北野委員) 麻しんのことですが。今、麻しんの疑いで、芦屋病院で受診している子供がいて、麻しんの確定診断がされると、学校側として特別な対応が求められるようになります。麻しん患児が発生したことを保護者に知らせなくてはならないし、ほかに広がらないようにということで、予防接種を受けてない子供には、受けてくださいというお知らせを出さないといけないのですが、ずっと予防接種を拒否されてるかたには、受けてくださいと言っても受けてもらえず、その後は、自己責任になると思うし、かなり対応が神経質になります。

普通の病気と違って、麻しんは、影響力が大きいので、接種率が上がればいいのにとおもいますが、実際のところ、どれくらいの率で接種を受けているのか、把握していないのですが。

(河盛委員) 麻しんは、複数の子供がり患したら、学校閉鎖が適切と思われます。

(北野委員) 学校閉鎖ですか？学級でなく？

(河盛委員) そうです。それくらい重大な病気であることを親御さんに伝えないといけません。今年になって、麻しんが増えていますが、実のところ、小児例のほとんど、9割くらいが未接種者です。4, 5歳ですと、未接種だとすぐに感染していくのでしょうか。

(高委員長) ほかにありませんか？

(北野委員) 数のことをお聞きしたいんですが。MR2期の対象者数と就学前健診の子供の対象者数は、同じ年齢の対象児のはずなのに差がありすぎです。同じでないのですか？

(事務局 井上) MR2期の対象年齢は、3月31日の市民課の住民のデータをのせています。

(事務局 瀬戸山) 就学前健診の子供の数は、教育委員会の学校教育課に計上をお願いしています。

(北野委員) そんなに数が変わるのでしょうか？

(事務局 井上) 詳しくは、わかりませんが、予防接種の数は、対象者の抽出方法が決まっていますし、市民課のデータも毎月、町ごと、年齢ごとでわかりますから、変化があります。

(河盛委員) 入学後の未接種者を学校では、把握されていますか？

(北野委員) 学校ごとで集計しているかもしれませんが、即答はできません。

(高委員長) 未接種者には、どのようにフォローしているのですか？通知ですか？

(事務局 井上) 全部通知はしていませんが、MRでしたら就学前1年の間に接種するように、あるいは日脳だったら、小学校3年生に接種勧奨はがきを個別に送付しています。国、県のほうから、重点的に勧奨するように言われている年齢に送付しています。

(高委員長) 就学前健診での勧奨方法は？

(事務局 井上) 母子健康手帳で確認し、受け洩れのところを用紙にチェックして接種可能期間が残っている接種であれば、期間も説明して早急に接種するよう指導しています。

(北野委員) ここ数年学校では、麻しんの疑いはありましたが、麻しんであった子供はいませんでした。

(河盛委員) 兵庫県でも麻しんが発生していますし、学校は未接種者を把握しておいたほうがいいのではないのでしょうか。発生してからの調査は、時間がかかるので、早急な対

応がとれませんから。

(高委員長) 調査体制を学校で作っておくということですね。

(河盛委員) そういうことです。

(高委員長) それでは、先に進めます。平成26年度予防接種事業実施計画について説明してください。

(事務局 井上) 平成26年度予防接種事業実施計画について説明します。

資料2, 3

水痘, 成人用肺炎球菌ワクチンの説明。

(高委員長) ありがとうございます。成人用肺炎球菌ワクチンですが、周知方法は、どうなっていますか？

(事務局 瀬戸山) この対象ですが、平成26年度から30年度まで5歳刻みで設定しています。高齢者に5年後の接種をお願いすると、かなりの混乱を生じることが予測されます。

(河盛委員) 新型インフルエンザの時も、肺炎球菌ワクチンをうったほうがいいということで在庫がなくなって混乱したことがあります。対象者を拡大するには、ワクチンの在庫がどの程度あるのかという問題がありますね。それと、これは、無料ですか？

(事務局 瀬戸山) いえ、未定ですが無料にはならないと思います。子供の水痘は、無料の方針です。現在、成人の肺炎球菌ワクチンは、対象の方に現在4000円の助成をしています。10月以降の実施方法や助成額は未定です。

(高委員長) 検討してください。

(事務局 瀬戸山) 秋には、決定する予定です。

(河盛委員) 日本脳炎ワクチンのことですが、経過処置としてまだ続いているんですか？

(事務局 瀬戸山) はい、前年に引き続きさせてもらっています。

(河盛委員) 問診票のことですが4種混合など接種履歴がかなり複雑で、母親に書いてもらうとたいがい混乱されているようで間違いも多いので、もう少し簡素化してもらえないですか。いつ受けたとかよりも月齢をいれてもらいたい。

(高委員長) ご検討ください。

(河盛委員) 風しんワクチンの助成を続けられるので、もう少しPRのほうもよろしく願います。

(事務局 越智) 要望いただきました風疹ワクチン接種助成事業の継続については、助成を継続するとともに、保育所保育士、幼稚園教諭にも保育所・園を通じまして連絡し、周知を図りました。また26年度も広報・ホームページだけでなく、チラシを作成し周知していく予定です。

(高委員長) その他も含めて、何かございますか？

(事務局瀬戸山) その他のところで、副反応報告書は、1件もあがっていませんが、BCG接種でのコッホ現象という事例報告が3月7日にありました。3月19日の再診で、予防内服の必要性を考えるということになっています。

(高委員長) 他にないですか？

(事務局 瀬戸山) 県から、接種事故の報告が毎月のようにあり、接種回数、種類、間隔の間違いなどのないようにと、注意をうながされています。これからもしっかり確認して接種していただきたいです。

あと日本脳炎ですが、接種可能年齢の乳児期からの接種を勧めておられる医療機関に、標準接種年齢での接種をおねがいしました。

(高委員長) 芦屋市では、学校の先生など風しん抗体の検査結果を調査したりしているのですか？

(事務局 瀬戸山) いいえ、していません。

(北野委員) 教壇にたつ者の結核の検査はしていますが、風しんはしていません。

(高委員長) 実習に来る生徒さんらは、検査しているのになぜでしょう。これからの検討課題にしてください。

それでは、これで本日の予防接種運営委員会を終了させていただきます。

【閉 会】